

林業公社の森林整備等に関するアンケート

平成21年3月実施

回答公社等数

* 岩手県、大分県含む
* 北海道、隠岐公社除く

1. 林業公社に関する取組方策について

(林業公社の存廃)

問1: 林業公社の存続・解散について、どのような方針か。

回答総数

* 重複回答あり

① 存続・解散の方針を決定済み

a. 存続決定	<input type="text" value="18"/>	45.0%
b. 解散決定	<input type="text" value="2"/>	5.0%
* 無回答	<input type="text" value="1"/>	2.5%
計	<input type="text" value="21"/>	52.5%

② 存続・解散について検討中

a. 存続する方向で検討中	<input type="text" value="3"/>	7.5%
b. 解散する方向で検討中	<input type="text" value="0"/>	0.0%
c. 将来的に解散と認識	<input type="text" value="1"/>	2.5%
d. 存続か解散か未定	<input type="text" value="0"/>	0.0%
* 無回答	<input type="text" value="3"/>	7.5%
計	<input type="text" value="7"/>	17.5%

③ 現時点では具体的に検討していない。

15.0%

④ その他

15.0%

(経営対策等に必要な方策)

問2-1: これまでの施策の効果等について、どのようにお考えですか。

* 効果等を3段階(大きい、中程度、小さい(ない))で評価してください。

	大きい	中程度	小さい(ない)	無回答
①林業公社の自助努力(経費削減等)の効果	20	16	4	0
②都府県の改善策(無利子化、利子補給等)の効果	37	1	2	0
③森林整備に対する補助事業の効果	27	10	3	0
④日本政策金融公庫による長期低利金融の効果	23	14	3	0
⑤農林漁業金融公庫が実施した任意繰上償還の効果	20	7	8	5
⑥民間金融機関等借入金の都道府県貸付金への切り替え	14	1	16	9
⑦地方財政措置(特別交付税措置等)による支援の効果	16	13	10	1
⑧林業公社による県営林を含めた一元管理、事業実行の必要性	6	8	22	4
⑨公社営林の県営林化による業務効率化の必要性	4	4	26	6
⑩その他	0			

問2-2: 今後の施策の必要性等について、どのようにお考えですか。

* 効果等を3段階(大きい、中程度、小さい(ない))で評価してください。

	大きい	中程度	小さい(ない)	無回答
①林業公社の自助努力(経費削減等)の必要性	20	10	10	0
②都府県の改善策(無利子、利子補給等)の必要性	31	5	4	0
③森林整備に対する補助事業の見直し	30	6	4	0
④日本政策金融公庫による融資制度の見直し	32	4	4	0
⑤農林漁業金融公庫が実施する任意繰上償還の必要性	22	11	7	0
⑥民間金融機関借入金の都道府県貸付金への切り替えの必要性	13	1	17	9
⑦地方財政措置(特別交付税措置等)による支援の必要性	29	7	3	1
⑧林業公社による県営林を含めた一元管理、事業実行の必要性	5	8	24	3
⑨公社営林の県営林化による業務効率化の必要性	8	6	23	3
⑩その他	0			

2. 林業公社における森林整備について

問3-1: 林業公社の造林地を、今後どのように取り扱っていく考えですか。

* 該当するものに○をつけて、森林面積も併せて記入。

	はい	(面積)	いいえ	未定	無回答
①当初契約の伐期で順次伐採する	9	(15,584)	19	6	6
②一部について伐期を延長する	10	0	18	5	7
③全て、伐期を延長する	20	(238,241)	13	4	3
④広葉樹林化等を図る	19	(162,046)	8	10	3
⑤森林ごとに、経済林、公益林等に区分する	12	(155,876)	11	11	6
⑥一部の森林については契約解除する	11	(551)	6	17	6
⑦皆伐は実施しない(間伐、択伐を行う)	17	(145,664)	11	8	4
⑧最終的に皆伐する	17	(126,690)	8	10	5
⑨その他	10				

問3-2: 今後の林業公社の森林整備方策について、以下の項目の必要性はどうか。

* 効果等を3段階(大きい、中程度、小さい(ない))で評価してください。

	大きい	中程度	小さい(ない)	無回答
①契約に基づく伐採時期や伐採方法の変更(長伐期化、広葉樹林化等)	30	4	5	1
②公社造林地を一団の森林として経営する計画づくり	16	14	10	0
③木材価格の変動等将来の変化に対応した分収契約方式の検討	24	9	7	0
④造林地の成長、収益性等に応じた客観的な評価	23	13	4	0
⑤公社有林の収益性を向上するコスト縮減	31	7	2	0
⑥森林整備に用いる補助金(国・県)の活用	35	4	1	0
⑦林業公社の森林整備等に係る情報の提供	18	15	7	0
⑧その他	0			

問4: 林業公社の森林整備を地域にアピールするための取組について、以下の項目の必要性はどうか。

* 効果等を3段階(大きい、中程度、小さい(ない))で評価してください。

	大きい	中程度	小さい(ない)	無回答
①水源かん養、国土保全等の公益的機能をPR	37	2	1	0
②長伐期林、広葉樹林等として多様な森林づくりを行うことをPR	23	8	7	2
③地球温暖化防止の役割をPR	33	6	1	0
④人工林の団地として、低コスト・安定供給に努め、木材生産の役割を果たすことをPR	21	14	5	0
⑤生物多様性にも配慮した森林づくり等地域のモデルとなる森林整備を展開することをPR	14	14	11	1
⑥住民参加の森林整備の機会を増大することをPR	9	19	12	0
⑦その他 0				

(新規の分収林契約と契約終了後の取扱い)

問5-1: 現在でも、分収林の新規契約を締結していますか。

①締結していない	38	95.0%	
②締結しており、今後も継続する	2	5.0%	
③いずれ中止する予定	0	0.0%	無回答 0

問5-2: 契約終了後の森林はどのような扱いになりますか。

①土地所有者が整備する	27	67.5%	
②林業公社が引き続き整備する	0	0.0%	
③何らかの公的整備が必要と考える	5	12.5%	
④その他	8	20.0%	無回答 0

(伐期の延長)

問6-1: 伐期の延長を行う場合は、どの程度の延長を予定していますか。
(予定していない場合は問7へ)

予定している 38

◆代表的な1~2樹種について概要を記入

スギ	80年以上へ延長(26)	最長で100年(2)
----	--------------	------------

問6-2: 現時点での伐期延長の進捗状況及び今後どの程度まで行う予定ですか。

現在の進捗状況	公社により様々	最大で9割(1)
今後の予定	10割を目指す(17)	

(分収割合の見直し)

問7-1: 分収割合の見直しを行う予定ですか。

①分収割合を見直す予定はない	3	7.5%	
②見直し中、又は見直す予定がある	22	55.0%	
③その他	15	37.5%	無回答 0

問7-2: 見直しを行う(行っている)場合は、どのような割合にする予定ですか。

9:1への変更(3)、8:2への変更(7)、7:3への変更(11)、変動制(1)、その他
--

問7-3: 現時点での分収割合の見直しの進捗状況及び今後どの程度まで行う予定ですか。

現在の進捗率	1割以下(20)、最大で7割(2)
今後の予定	10割を目指す(14)

(森林整備関連の補助事業)

問8: 林業公社では導入し、又は導入を予定している森林整備関連の補助事業メニューを全て選んでください。

	導入又は予定率
①機能増進保育(長伐期化、31~60年生)	31 / 77.5%
②人工林整理伐(針広混交林化、広葉樹林化、46~60年生)	24 / 60.0%
③受光伐(複層林化、16~45年生)	5 / 12.5%
④長期育成循環施業(複層林化、46~90年生)	10 / 25.0%
⑤定額での間伐(条件不利森林公的整備緊急特別対策事業(H21)等)	32 / 80.0%
⑥定額での路網整備(路網整備地域連携モデル事業(H20補正))	26 / 65.0%
⑦「美しい森林」共同整備特別対策事業	23 / 57.5%
⑧その他	8 / 20.0%

(低コスト化)

問9: 利用間伐や主伐の時期を迎える人工林が増加する中、生産コストの縮減を図ることが課題となっています。公社造林地でコスト縮減を図る取組の必要性等についてどのように考えていますか。

* 効果等を3段階(大きい、中程度、小さい(ない))で評価してください。

	大きい	中程度	小さい(ない)	無回答
①作業路網の整備	38	2	0	0
②高性能林業機械の導入と活用	33	3	4	0
③列状間伐等の効率的な間伐方法の選択	28	9	3	0
④森林組合作業班の育成	23	12	5	0
⑤森林組合以外の林業事業体の育成	23	11	6	0
⑥大規模な製材加工施設の整備	15	14	11	0
⑦集成材や合板などの加工施設の整備	15	16	9	0
⑧原木市場など集出荷施設の整備	12	17	11	0
⑨原木を需要者に直送する取引	20	13	7	0
⑩計画的な伐採と安定供給	32	6	2	0
⑪その他	0			

3. 林業公社の経営対策への取組みについて

(都府県の取組)

問10: 現在まで、都府県は、林業公社の経営対策としてどのような支援を実施してきましたか。また、今後はどのような取組を実施予定ですか。

項 目	現 在	今 後
①無利子貸付	a. 実施している 34 85.0% <small>(金額: 56,649,054 万円程度)</small> b. 実施していない 6 15.0% * 無回答 0	a. 引き続き実施する 30 76.9% b. 今後実施する 0 0.0% c. 実施する予定はない 4 10.3% d. その他 5 12.8% * 無回答 1
②県貸付金の償還繰延	a. 実施している 15 38.5% <small>(金額: 12,381,844 万円程度)</small> b. 実施していない 24 61.5% * 無回答 1	a. 引き続き実施する 13 35.1% b. 今後実施する 5 13.5% c. 実施する予定はない 8 21.6% d. その他 11 29.7% * 無回答 3
③利子補給	a. 実施している 25 64.1% <small>(金額: 357,486 万円程度)</small> b. 実施していない 14 35.9% * 無回答 1	a. 引き続き実施する 23 62.2% b. 今後実施する 1 2.7% c. 実施する予定はない 10 27.0% d. その他 3 8.1% * 無回答 3
④管理費の補助	a. 実施している 19 48.7% <small>(金額: 319,099 万円程度)</small> b. 実施していない 20 51.3% * 無回答 1	a. 引き続き実施する 19 51.4% b. 今後実施する 1 2.7% c. 実施する予定はない 12 32.4% d. その他 5 13.5% * 無回答 3
⑤その他	<ul style="list-style-type: none"> ・公庫の活性化資金活用時に嵩上げ補助実施 ・造林補助金に上乘せ補助実施 ・無利子貸付を出資金や補助金に変更して支援 ・不成績林処理に係る公庫償還金に対する補助実施 ・無利子貸付継続のためには、財源措置としての地方債の充実が不可欠 	

(林業公社の取組)

問11: 現在まで、林業公社では、経営対策としてどのように取り組んでいますか。また、
 今後はどのような取組を実施予定ですか。

①管理費(人件費含む)の縮減

a. 職員数の推移

最多時	現在	将来
813	458	321

注)単純集計のため「最多時」、「将来」の値は時点不整合

b. 都府県職員の派遣人数の推移

最多時	現在	将来
206	100	72

注)単純集計のため「最多時」、「将来」の値は時点不整合

c. 役職員給与のカット

ア. 実施している	28	70.0%		
イ. 実施していない	7	17.5%		
ウ. 検討中	3	7.5%	無回答	2

d. 組織の統廃合等(組織再編)

ア. 実施している	27	67.5%		
イ. 実施していない	10	25.0%		
ウ. 検討中	1	2.5%	無回答	2

e. 外部委託等の徹底によるコスト削減

ア. 実施している	7	17.5%		
イ. 実施していない	25	62.5%		
ウ. 検討中	6	15.0%	無回答	2

f. 物件費の節減によるコスト削減

ア. 実施している	26	65.0%		
イ. 実施していない	9	22.5%		
ウ. 検討中	2	5.0%	無回答	3

g. GPSの活用による境界管理等管理業務の効率化

ア. 実施している	8	20.0%		
イ. 実施していない	26	65.0%		
ウ. 検討中	4	10.0%	無回答	2

h. その他

・特記事項なし

②事業コストの削減

a. 森林の状況に応じて、経済林、環境林等に区分やランク分け

ア. 実施している	21	52.5%		
イ. 実施していない	15	37.5%		
ウ. 検討中	2	5.0%	無回答	2 5.0%

b. 不採算林を契約解除や除地化により整理

ア. 実施している	17	42.5%		
イ. 実施していない	9	22.5%		
ウ. 検討中	12	30.0%	無回答	2 5.0%

c. 枝打ちの取りやめ等施業コストの削減

ア. 実施している	36	90.0%		
イ. 実施していない	2	5.0%		
ウ. 検討中	0	0.0%	無回答	2 5.0%

d. 受託事業の実施

ア. 実施している	23	57.5%		
イ. 実施していない	15	37.5%		
ウ. 検討中	0	0.0%	無回答	2 5.0%

e. その他

- ・競争入札の導入
- ・森林整備地域活動支援交付金の活用

③間伐収入等の確保

a. 間伐収入の確保

ア. 実施している	33	82.5%		
イ. 実施していない	4	10.0%		
ウ. 今後の取り組み	2	5.0%	無回答	1 2.5%

b. 人工林整理伐(抜き切り)

ア. 実施している	4	10.0%		
イ. 実施していない	19	47.5%		
ウ. 今後の取り組み	16	40.0%	無回答	1 2.5%

④その他

- ・有利子負債に依存しない経営体制の確立
- ・長伐期化
- ・分収割合の変更
- ・借入金利息の軽減